

平成29年度 I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース

《《実践コース》》

(本コースは基礎コース2年目修了者より8名を募集します)

【目的】 病院勤務看護師が在宅生活志向を高める。

- 【目標】 1. 病院勤務看護師の在宅生活志向を強化し、退院支援の実践に生かすことができる。
 2. 家族を含めた患者が、在宅療養を送るために必要な地域の資源を提供することができる。
 3. 必要に応じて、多職種での連携を加味した退院支援を実践することができる。

【研修科目】	第1回集合研修：患者中心の地域連携のための地域資源について
【ねらい】	在宅生活志向を強化するために、実際の地域をモデルにどのような資源があり、どのように連携するか、モデル地区を想定した演習を行い理解する。
【内 容】	<p>*日程 平成29年5月24日(水) 9時00分～11時30分</p> <p>*場所 鳥取大学医学部 アレスコ棟4階 医療スタッフ研修センター講義室</p> <p>*講義 患者の住み慣れた地域を知り患者中心の地域看護連携へ</p> <p>*講師 訪問看護ステーション博愛 管理者 石橋 佐智子 氏</p> <p>*グループ演習 退院事例を通して、地域における社会資源を知る ー看護の視点での地域診断ー</p>

【研修科目】	訪問看護ステーション実習
【ねらい】	家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。 訪問看護師として他職種と協働する必要性や役割を理解できる。
【内 容】	<p>*日程 平成29年6月から11月(予定)</p> <p>*実習先 (県内の指定された)訪問看護ステーション(5日間)</p>

【研修科目】	訪問診療同行実習
【ねらい】	入職3年(もしくは4年)目の病院看護師が、在宅療養者の生活を支援する一つである訪問診療の実際を知る。
【内 容】	<p>*日程 平成29年6月から11月(予定)</p> <p>*実習先 (県内の指定された)在宅療養診療所(1日間)</p>

【研修科目】	地域包括支援センター実習
【ねらい】	入職3年(もしくは4年)目の病院看護師が、地域包括ケアシステムの中で地域包括支援センターが実際行っている地域住民への働きかけを知る。 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性をふまえた支援の展開を知る。
【内 容】	<p>*日程 平成29年6月から11月(予定)</p> <p>*実習先 (県内の指定された)地域包括支援センター(1日間)</p>

27年度 I コース入講生

【研修科目】	退院支援実習
【ねらい】	自部署の退院支援ナースと共に退院時カンファレンスに参加し、他の専門職の患者理解の視点を知り、患者の生活を理解する。 自宅訪問を通じて、より実践的な退院支援の視点をもつ。
【内 容】	*日程 平成29年6月～10月（予定） *内容 ①（多職種を含めた）退院時カンファレンスに参加する ②退院後訪問を行う

【研修科目】	第3回T-HOCひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義を受け、病院看護師が、地域の生活を支援する看護の視点を明確にできる。
【内 容】	*日程 平成29年9月8日（金）13時00分～16時30分 *場所 日野文化センター *特別講義 （案）「雲南市における訪問看護による地方創生『コミケア』」 （案）「心の笑顔～心から笑顔になっていますか」 *講師 訪問看護ステーションコミケア 所長代行 安達 弓恵 日野町瑠璃光山泉龍寺 住職 三島 道秀

【研修科目】	第5回T-HOC特別セミナー
【内 容】	*日程 平成29年10月下旬（予定） *特別講義（講師：未定）

【研修科目】	実習後カンファレンス
【ねらい】	実習で学んだことを、他の実習先で学んだ受講生と情報交換をし、学びを深める。
【内 容】	*日程 平成29年12月（予定） *グループ討議 *助言者（実習先の訪問看護ステーション管理者 1名） 実習カンファレンス後、実習総括レポート（タイトル自由）提出すること。

【研修科目】	第2回集合研修：在宅生活志向の看護の実践に向けて
【ねらい】	これまでの3年間のコースで学んだことを、今後の看護活動にどのように反映するか明確にする。
【内 容】	*日程 平成30年2月（予定） *場所 （未定） *講義 在宅生活志向の看護の実践に向けて *講師 訪問看護ステーションあんあん 宮崎 和加子 氏【案】

【研修科目】	第6回T-HOC特別セミナー
【内 容】	*日程 平成30年3月上旬（予定） *特別講義（講師：未定）